

2023年8月10日

## 2023年度第1四半期決算説明会 質疑応答

沖電気工業株式会社

- Q：在庫の対計画増について、特に影響を受けているセグメントなど、具体的にあれば教えてほしい。
- A：全セグメントで増えているが、エンタープライズソリューションとEMSの影響が大きい。レガシー系の半導体など、今まで入ってこなかった部材が納品されはじめてきたため、在庫として計画よりも少し大きく積みあがっている状況である。
- Q：エンタープライズソリューションの「部材コスト増」影響の通期見通しを教えてほしい。
- A：第1四半期をピークに大きくは第2四半期まで続き、一部第3四半期まで残る見込みで、年間で約30億円の見通し。
- Q：エンタープライズソリューションの内訳（ハード/ソフト、工事・保守）について、昨年度実績と年間計画を教えてほしい。
- A：ハード/ソフト：FY22実績 ▲49億、年間計画 40億  
保守・工事：FY22実績 66億、年間計画 70億
- Q：エンタープライズソリューションのATM出荷台数について、国内、海外の第1四半期実績を確認したい。
- A：国内銀行向け：第1四半期実績 1,240台 / 第1四半期計画 1,400台  
流通向け：          "          1,610台 /          "          1,450台  
海外向け：          "          300台 /          "          500台
- Q：ATMについて、第1四半期が終わってみて、今年度計画やシナリオに変化はあるか。
- A：改刷時期の発表を受けて、若干前倒す動きも出てきているが、現時点で今年度の年間計画を見直す要因は起きていない。今年度の計画をしっかりとやりきることが最大の課題である。
- Q：パブリックソリューションの「通信キャリア向け案件が減少」は想定通りなのか。
- A：今年度から無くなることは、想定通りである。

Q：パブリックソリューションについて、防災関連システムは更新時期になってきていると思うが、受注動向など、状況はどうか。

A：競合との競争が厳しい状況の中で、第 2 四半期決算発表の時に年間の見通しなど示す予定である。

Q：EMS について、FA 市場や半導体の設備投資はかなり弱くなっているが、増収増益の計画の確度や裏付けは何か。

A：一部の市場で需要の減少を感じているが、当社 EMS は国内を中心としたニッチな分野を中心としており、今年度計画への影響はあまりないと思っている。

（注）本資料における予想、見通し、計画等は、現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。なお、記載内容につきましては実際のやり取りに即しておりますが、理解しやすいように部分的に編集を加えております。